

令和5年度第1回岡崎市地域包括ケア推進協議会 議事録

日 時 令和5年8月3日（木）午後1時30分～午後2時30分

場 所 岡崎市医師会公衆衛生センター研修室3

出席委員 小原会長、加藤副会長、井坂委員、黒谷委員、小出委員、織田委員、山本委員、鶴田委員、本田一恵委員、伊藤委員、土屋委員、本田智弘委員、平松委員、志賀委員、井戸田委員、鳥居委員、野澤委員、高橋委員、青山委員
以上19名

欠席委員 佐々木委員 以上1名

事務局 福祉部：阿部田部長

ふくし相談課：齊藤課長、寺西副課長、内藤係長、早川主査

長寿課：中根課長、藤谷副課長、鈴木主幹、山本係長

介護保健課：神尾副課長、水口係長

医療助成室：小笠原室長、川辺係長

国保年金課：鈴木係長

オブザーバー 岡崎市医師会：大堀理事、矢野局長

在宅医療サポートセンター：鈴木看護師

基幹型地域包括支援センター：入松川社会福祉士

幸田町福祉課：横田課長、鈴木課長補佐、安形

1 開 会

2 議 事（公開）

- (1) 地域包括ケアの構築に向けた多職種連携に関する課題と地域包括ケア計画の基本的な方針について
- (2) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について

3 議事録（要旨）

ー議事1 地域包括ケアの構築に向けた多職種連携に関する課題と地域包括ケア計画の基本的な方針について

事務局から説明

会長 事務局から説明がありましたが、質問、意見ありますか。

伊藤委員 地域包括ケア計画は、高齢者福祉計画と介護保険事業計画を兼ねており上位計画として地域福祉計画があると思いますが、どのような連携があるのか、また、計画策定から2年目かと思いますが新たに付加されるものがありましたら教えてください。

事務局 介護保険事業計画は分野別の計画、社会福祉法に位置付けられてあらゆる分野の福祉の計画が地域福祉計画になり、令和4年3月に地域福祉計画を策定しています。地域福祉計画の中に重層的支援体制整備事業実施計画

を策定しています。今回の案の 24 ページの図については、この実施計画から抜粋しています。地域共生社会が地域包括ケアの深化の先に目指しているものであります。地域包括ケアを進めることで地域共生社会を推進していきたいと考えています。

会長 地域包括ケア計画については、医療計画と同時に検討されてお互いに連携していくことが前提になっていますので、合わせてこれから作成されていくと思います。

多職種連携の課題についてご質問はありませんか。いまだに連携がとれていないというアンケート結果、高齢者からすると相談する場所がなく家族が相談相手の上位にあるという状況で、多職種連携をしましょうということではなく、連携せざるを得ない状況にするというために要支援要介護認定者に係る連携もやっていこうということですので皆さまご協力をよろしくお願いします。

冒頭の人口推移を見ると、高齢者が増えて生産年齢人口が減っていく中で 10 年先には本当にこのシステムでやっていけるのか、見る人が多くて担い手が少ないのであれば在宅なのか施設なのか、在宅医療介護を含めて個別的な対応で進めるには限界があるので、施設でのケアも近い将来考えなければならぬかもしれないということも念頭に置きながら地域包括ケアを考える必要もあると思います。

一議事 2 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について

会長 事務局から説明がありましたが、質問、意見ありますか。

山本委員 薬剤師会では、昨年から残薬の整理事業をしています。患者さんや家族から薬が余っていると情報を受けたときにバックに入れて持ってきてもらい薬局で数えて整理をします。昨年の集計ではおおよそ 300 品目で 40 万円の残薬がありました。今年度からはなるべく多くの多職種の集まる会議、コミュニティケア会議などで紹介していますが、民生委員さんなどからも残薬があるというような情報がありましたら薬局に相談するよう勧めていただけたらと思います。残薬や薬の飲みすぎを防ぐことにつながればと思っています。パンフレットと紹介状があります。薬局や薬剤師会に情報提供いただければ対応しますので、よろしくお願いします。

会長 薬剤処方の現状にある重複処方や多剤処方に関連すると思います。高齢者のかたが薬について理解しているのかというところが一番問題になると思いますのでご協力をよろしくお願いします。

一体化事業というのは、いままで広域連合ややっていなかった部分をやっていくという印象がありますが、75 歳以上を対象として健診だけでなく健康を維持するためのサポートの事業を一体的にやるという取組です。今年度の健診のデータに基づいて実際のサポートは来年度からということに

なると思いますので、よろしくお願いします。

4 閉 会